

1. 産業領域

小型人工衛星開発・運用およびデータ利活用を核とした宇宙産業領域

2. 対象エリア

小型人工衛星開発企業や衛星データを活用するIT関連企業が立地する福岡市、超小型人工衛星の研究拠点を有する九州工業大学が立地する北九州市、人工衛星部品製造企業が立地する久留米市※上記を中心に県内全域にクラスターによる経済活動の波及を図っていく。

3. 目指す姿（目標）

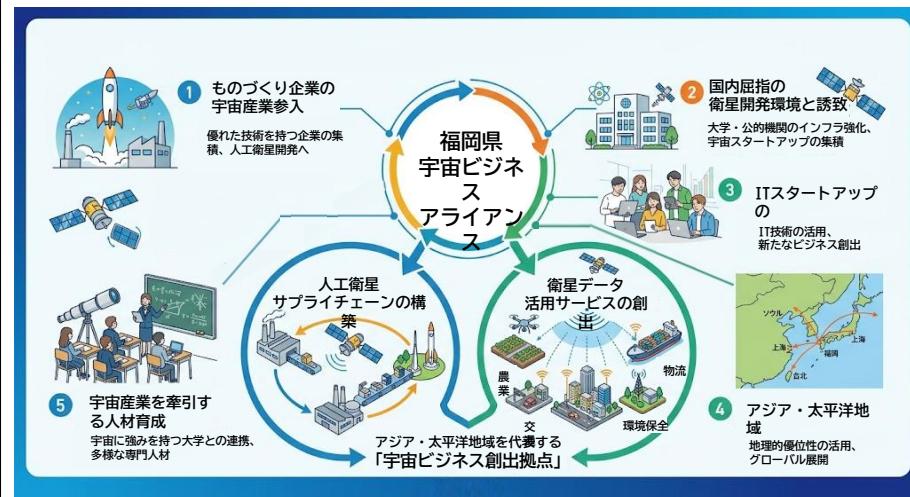
国内有数の会員数を誇る産学官連携組織「福岡県宇宙ビジネスアライアンス」を核に、厚みのある人工衛星サプライチェーンを構築するとともに、衛星データを活用した新たなサービスを次々に創出することで、アジア・太平洋地域を代表する「宇宙ビジネス創出拠点」の形成を目指す。

目指すべき目標（KGI）＜R8年度～R17年度＞

- ・官民設備投資額：累計39億円（目標年度は5億円）
- ・付加価値増加額：18億円（目標年度は3.6億円）
- ・産業人材育成数：累計950名（目標年度は95名）

4. 勝ち筋

- ・優れた技術を持つものづくり企業の強みを活かし、県内企業の新規参入・ビジネス拡大を促進
- ・大学や公的支援機関の研究開発インフラ強化により、国内屈指の人工衛星開発環境を構築し、宇宙スタートアップを誘致
- ・ITスタートアップが集積する強みを活かし、衛星データを活用した地域課題の解決に取り組むことで新たなビジネスを創出
- ・アジアに近接する地理的優位性を活かし、アジア・太平洋地域とのビジネスネットワークを構築
- ・宇宙産業を牽引する多様な専門人材の育成



5. 政策手段

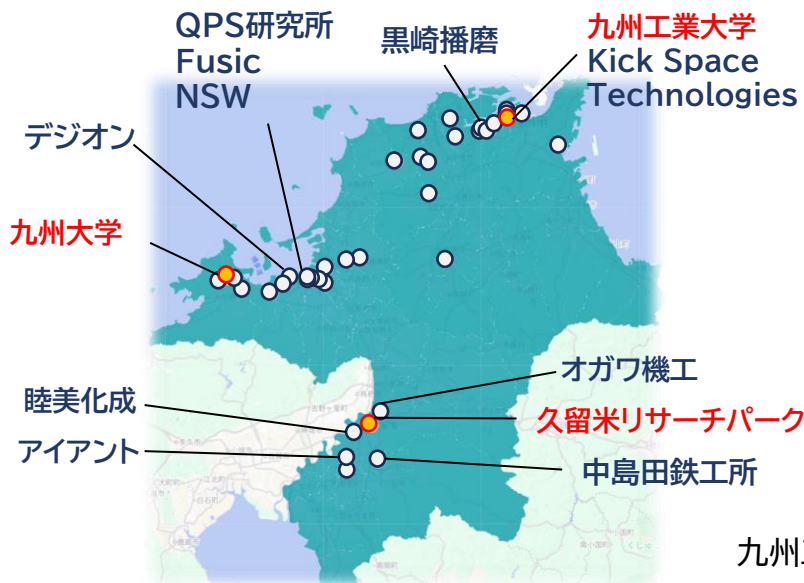
（1）課題

- ①宇宙産業分野への参入障壁の解消
- ②高度な研究開発環境の整備と宇宙スタートアップの創出・誘致
- ③衛星データ利活用による新規ビジネス創出と地域課題解決
- ④アジア・太平洋地域を視野に入れた国際展開の加速
- ⑤宇宙関連専門人材の充実

（2）政策パッケージ

- ①専門家による技術・ビジネス両面での伴走支援の強化
- ②官民投資による大学の試験設備充実・強化
- ③衛星データ利活用サービスの創出支援
- ④海外展開に向けたビジネス拡大支援の強化
- ⑤大学等と連携した即戦力人材育成プログラムの構築・実施

福岡県「宇宙産業分野における地域産業クラスター計画」における地域内の集積状況



核となる事業者

- 中核となる人工衛星開発企業
株式会社QPS研究所、キックスペーステクノロジーズ株式会社
ほか1社
- 宇宙機器関連部品製造企業
黒崎播磨株式会社、株式会社中島田鉄工所、オガワ機工株式会社
ほか30社
- 衛星データ関連IT企業
株式会社Fusic、株式会社デジオン、株式会社NSW ほか 2社
計39社

九州工業大学・革新的宇宙利用実証ラボラトリー
【地上実証の研究開発】

(株)QPS研究所
【小型人工衛星製造】



○ 企業
● 大学・支援機関等

黒崎播磨株式会社
【人工衛星望遠鏡用ミラー】

株式会社中島田鉄工所
【小型衛星軌道離脱装置】

株式会社デジオン
【衛星データ利活用サービス】

